



# 温室効果ガス排出量削減！ メンテナンスニュース

第115号

社内学習資料

2022年12月発行

私たちは緊急出動ゼロを目指しています！

丁寧な・熱心な作業も技術の一つです！

## 「気忙しい 時計も走る 師走かな」 本年も多くの課題にチャレンジしました！



新型HVシステム  
試験（特許出願）

当該dsp処理槽は油の流入により、悪臭と水質に支障が。急遽、**出願中**の新システムを設置。結果は数日で臭気と水質が改善。



Newスクリーン  
試験設置

担体の処理槽は、担体の破損が激しくスクリーンを通過しポンプ槽に流れ警報を発します。多様なスクリーンで**担体流出と閉塞のテスト**中です。



放流ポンプ配管  
補修

当該dsp処理槽の放流配管は、ウォーターハンマーによる衝撃が大きく、配管接合部が離脱しました。塩ビ接着に**FRP被覆固定**しました。



放流ポンプ配管  
修繕

当該dsp処理槽の放流配管は、上下トラップ配管でポンプ停止の衝撃が大きく離脱、**トラップをなくし逆止弁を縦から横に変更**。襲撃は大幅に減少。



油脂ゼロポンプ槽  
に改修（特許）

当該中継ポンプ槽は油脂の堆積が多く、**油脂ゼロポンプ槽3ヶ所改修のみを請け負**いました。1ヶ月後、結果は油脂ゼロを実証。



臭気ファン騒音  
消音器設置

dsp処理槽の臭気ファンは出力が大きく、騒音は処理槽にバックし、処理槽外に騒音として苦情が。**臭気配管を利用して消音器**を。結果は苦情消えました。

## 水物語 No105 お帰いなさい！ 11年ぶり再開の「絶景鉄道只見線」喜びです。



2011年7月、3.11東日本大震災から、僅か4ヶ月後の事、新潟県と福島県を襲った集中豪雨は、JR只見線の鉄橋を押し流し沿線に大きな損害を与えました。静かに暮らすローカル線にとって致命傷となる損害で、暮らしの足を奪われました。

会津若松駅から会津川口駅と、只見駅から新潟小出駅の折り返し運航で、会津川口駅～只見駅間は不通が強いられました。自慢ではありませんが、毎年赤字1日3本の過疎ローカル路線です。廃線が必然の道でもありました。

廃線か存続か？地元では只見線を守る応援団が小さな声を上げて存続を求めました。長い協議の末、地域住民の熱い思いが実り、奇跡的に全線復旧日が決まりました。

2022年10月1日、JR只見線は全線開通の日を迎えました。会津川口駅と只見駅間は、地域住民と国を超えた撮り鉄の皆さんの「おかえりなさい旗」が列車を迎え、全員の眼には、うれし涙が光っていました。鉄道開業150年10月1日の開通は、素敵なめぐり合わせです。

油脂ゼロポンプ槽推進中 クリーンテックサービス東京